



エターナル・ラブ・イスラエル



☆ ニュースレター31号 ☆



永遠の愛をもって、わたしはあなたを愛した。それゆえ、わたしはあなたに、誠実を尽くし続けた。

おとめイスラエルよ。わたしは再びあなたを建て直し、あなたは建て直される。(エレミヤ 31:3~4)

●事務局: 〒226-0014 横浜市緑区台村町 186 番地 Tel:090-8729-0856

●メール: eternalloveisrael@gmail.com

●ホームページ: <http://eli.holy.jp>

●銀行口座: 三菱東京 UFJ 銀行 武蔵新城駅前支店 普通預金 0909009 エターナル・ラブ・イスラエル

●郵便振り込み: 00200-9-79214 エターナル・ラブ・イスラエル



代表 宮本 純子(聖契神学校卒業、WMTC 世界宣教研修センター卒業)

☆イスラエルの平和を願う集い☆



ハレルヤ! 主の聖名を心から賛美いたします。

愛する皆さまお元気でお過ごしでしょうか。

いつもエターナル・ラブ・イスラエルの働きのためにお祈りと尊いご献金で支えてくださり心から感謝を申し上げます。

3月3日、横浜市緑区民文化センター・みどりアートパークホールにて「イスラエルの平和を願う集い」~日本から、横浜からイスラエルの平和を願い、祈りを届けます~を開催しました。(主催:エターナル・ラブ・イスラエル 後援:日本イスラエル親善協会 協力:合同会社ユーアイ、国際文化連携協会)

横浜市会議員の齊藤達也氏からもご挨拶を頂きました。



第一部は、池田明史先生(JIFA理事・東洋英和女学院大学名誉教授)が「ガザ戦争の現状と展望~イスラエルの視点から~」というタイトルで講演されました。日本では、パレスチナ寄りの偏った報道が多いので、中東問題に詳しい池田明史先生から詳しい解説と現状の詳細な分析による大変分かりやすい説明を聞き、来場者からはご好評を頂きました。

第二部は、「イスラエルの平和を願うコンサート」。中田良さんと中田有さんのピアノとチェロによるアンサンブルが演奏されました。

ヨアヒム・ストゥチェフスキー作曲「チェロとピアノのための6つのイスラエル・メロディー」など、イスラエルにちなんだ曲を披露。とても美しく崇高なユダヤ音楽に浸る祝福で満ちた時となりました。



ロビーには、宮本純子の絵画、聖地画展の展示、聖地画ポストカードの販売や平和の寄せ書きコーナーなど、日本イスラエル親善協会、合同会社ユーアイ、国際文化連携協会のブースも設置しました。

「イスラエルの平和を願う集い」を開催できましたことを神様に心から感謝致します。また尊いご奉仕とお祈りで支えてくださいました皆さま、お越しくださりました方々に改めて心からお礼を申し上げます。



4月に入り、イスラエルではイランからもミサイル攻撃があり、中東情勢に緊迫が続いています。イスラエルの上に、神様の守りと救いがありますよう心からお祈り申し上げます。

☆タウンニュースなど多数に掲載☆

ホーム 横浜 川崎 相模原・東京多摩 県央

緑区版 公開：2024年2月15日

イスラエルの平和を願う

中東問題テーマに講演会
【社会】

緑区民文化センター「みどりアートパーク」ホールで3月3日（日）、「イスラエルの平和を願う集い～日本から、横浜からイスラエルの平和を願い、祈りを届けます～」が開催される。午後7時開演（6時30分開場）。エターナル・ラブ・イスラエル主催。

同イベントでは、イスラエル・パレスチナ問題を含めた中東問題をテーマに講演会「中東情勢について」が行われる。講師を務めるのは東洋英和女学院大学名誉教授の池田明史さん。また、コンサート「現代に生きるユダヤの響き♪」では、中田良さん（ピアノ）と中田有さん（チェロ）による『ユダヤの歌』や『ハシディーム組曲』などの曲が演奏される。聖地画展「イスラエルの平和を願う絵」も同時開催となる。入場料1000円（当日受付で支払い/当日券のみ）。定員先着200人。

エターナル・ラブ・イスラエル代表の宮本純子さんは「正しい情報を得て正しく理解することが大切。コンサートでは音楽を通じて平和を感じてほしい」と述べる。



会場を呼び掛ける宮本さん

タウンニュース横浜市緑区版2月15日号に掲載して頂きました。

毎日ニュースで報道されるイスラエル、中東情勢について地域の方々にも知って頂ければと思い、掲載して頂けて感謝でした。

講師の池田明史先生は、東洋英和女学院大学名誉教授でおられるので、東洋英和女学院大学のホームページでも「イスラエルの平和を願う集い」のご案内をしてくださいました。

日本イスラエル親善協会が発行する「月刊イスラエル」でも掲載して頂きました。

ご協力くださった横浜市会議員の斉藤達也氏にも心から感謝を申し上げます。

☆プリムの祭り☆



3月24日、プリムの祭りを受難週、棕櫚の日が重なりました。

ハバッド・ジャパンでは、プリムの祭りを祝うため多くのユダヤ人が会堂に集まり、メギラー（エステル記）の朗読をしました。朗読中「エステル」と「モルデカイ」の名前が呼ばれると歓声をあげ、逆に宿敵である「ハマン」の名前が出る度にガラガラと音の鳴るオモチャや足を踏み鳴らしブーイングします。

プリムは、エステルがユダヤ人であることを隠していたことにちなんで、子供も大人も仮装をします。今年は、サーカスのテーマで仮装しました。

ハマンが三角形の帽子をかぶっていたことにちなんで「オズネイ・ハマン（ハマンの耳）」という三角形のお菓子を食べました。

神様の選民であるユダヤ人を滅ぼそうと企む敵から救うために、主がモルデカイとエステルを用いてくださいました。今も、選民であるイスラエル、ユダヤ民族があらゆる敵から守られますよう心からお祈り致します。

☆お花見☆



3月30日、日本イスラエル親善協会主催のお花見が東京都世田谷区の砧公園にて実施され、ギラッド・コーヘン駐日イスラエル大使をはじめ大使館職員、イスラエル人旅行者や多くのユダヤ人たちと共にイスラエルを愛する日本人が参加し、桜を楽しみました。春の恒例行事、晴天にも恵まれて、和やかな雰囲気の中で楽しく過ごしました。

キリストチャン新聞

THE CHRISTIAN

ニュース 神学・牧会 ビジネス・生活 メッセージ・オピニオン 特集／ひと 証し レビュー 異端・カルト 震災関連 お知らせ

「イスラエルの平和を願う集い」で池田氏 「戦争終結もその後も不透明」

2024年3月19日 トピックス, ニュース, フォトニュース

昨年10月7日から始まった、イスラム組織ハマスとイスラエルの戦争から5か月あまり。現在、双方の間で休戦交渉が行われているが、見通しは全く立っていない。そんな中、「イスラエルの平和を願う集い」が3月3日、神奈川県横浜市緑区民文化センター「みどりアートパーク」ホールで開かれた。主催はエターナル・ラブ・イスラエル。

◇ ◆ ◇

最初に、主催者代表の宮本純子氏が趣旨を説明。「戦争でなく平和な世界に生きていくため、互いを大切に尊重するには、私たち一人一人の生き方にかかっている。聖書には『お互いに平和を保ちなさい』（1テサロニケ5・13）、『エルサレムの平和のために祈れ』（詩篇122・6）と書いてある。本日は日本からイスラエルの平和を願い、祈りを届けたい」と語った。

第一部は、国際政治学、中東地域研究専門の池田明史氏（東洋英和女学院大学名誉教授）が中東情勢をテーマに講演。「2月に入り、イスラエルは『完全勝利するまで戦う』と言い続けているが、完全勝利が何を意味するのかははっきりしない。ハマスは組織であると同時に運動体、イデオロギー（思想）だ。組織としてのハマスを壊滅できても運動体、イデオロギーとしてのハマスを消滅させるのは不可能だ。どこまでやったら戦争目的が達成できるのか明らかでない」

「3月10日前後から、日の出から日没まで断食するラマダンが始まるが、この時期はパレスチナだけでなく他のイスラム世界全体が神経質になる。国際社会はその前に、何とか休戦交渉がまとまることを願っている。当事者たちは非常に大きな岐路に立たされている」

ハマスの奇襲攻撃がイスラエルに与えた衝撃について、こう分析する。「第一次中東戦争では、9か月で6千500人の犠牲者を出したが、今回は1日で千200人。しかも240人が人質として連れていかれた。イスラエルは世界に名だたる情報王国。情報収集、分析は十分されていたが、『できるはずない』と評価していた。これが完全に裏目に出た」

「イスラエルはシリア、レバノンからの脅威も抱えている。それでもハマス殲滅（せんめつ）に邁進（まいしん）しているのは、抑止力が衰えてしまった焦燥感からだ。10月7日の攻撃で自信がぐらついた抑止力の再建が、今度の戦争の暗黙の了解であり、中途半端に終わらせられない」

今後の展望については、「イスラエルがハマスの軍力を納得いくまでたたいた後、ガザをどう立て直すのか。パレスチナ自治政府か、国際機関による人道支援か。終わり方も含め、非常に不透明な状況だ」と語った。

第2部は、「イスラエルの平和を祈るコンサート」と題し、中田良氏のピアノと中田有氏のチェロによるアンサンブル。ヨアヒム・ストゥツェフスキー作曲「チェロとピアノのための6つのイスラエル・メロディー」など、イスラエルにちなんだ曲を披露した。ロビーには、聖地画の展示、聖地画ポストカードやキットバスの販売、平和の寄せ書きコーナーなどのブースも設置された。

宮本氏は「イスラエルがこれ以上、被害者にも加害者にもなってほしくない。双方には一度立ち止まってほしい。ここは共存しかないとも思っている。エターナル・ラブ・イスラエルは、この立ち位置で行動し、宣教していきます」と語った。



— 集いの趣旨説明をする宮本純子氏



— 池田明史氏

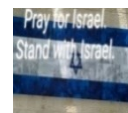


— イスラエルの曲を演奏する中田良氏（ピアノ）と中田有氏（チェロ）



☆祈りのリクエスト☆

「エルサレムの平和のために祈れ。『おまえを愛する人々が栄えるように。おまえの城壁のうちに、平和があるように。おまえの宮殿のうちには、繁栄があるように。』」(詩篇 122:6~7)



- ☆主のご再臨のために。イスラエルの救いのために。日本のリバイバルのために。
- ☆10月7日から開始したイスラエル・ハマス戦争のために。ハマスに拉致された人質が無事に解放されますように。
- ☆ガザ地区の市民の被害が最小限に抑えられますように。
- ☆緊迫する中東情勢のために。敵対する側からのあらゆる攻撃からイスラエルが主に守られますように。
- ☆世界中で起きている戦争、紛争、軍事侵攻、テロ、あらゆる対立などがなくなり、平和となりますように。

☆神様の深遠なるご計画の中で特別に選ばれ、愛されているユダヤ民族、イスラエルの平和が守られ、神様のご計画とみこころが成りますように。

☆反ユダヤ主義が世界中に広がりつつあります。ホロコースト(ユダヤ人大虐殺)の歴史を繰り返すことがないように。反ユダヤ主義がなくなりますように。

☆世界中からユダヤ人がイスラエルに帰還することが出来ますように。

☆世界情勢が激しく動く中、世界中の政治的指導者たちが、神様からの正しい知恵と判断力が与えられ、政治を進める事が出来ますように。

☆日本イスラエルの両国間の関係があらゆる分野で発展し、更に良い外交関係を築くことが出来ますように。

☆イスラエルの民、ユダヤ人の救いのために。イエス様を信じて救われる魂が多く起こされますように。

☆クリスチャンがユダヤ人迫害をした歴史があります。ユダヤ人とクリスチャンが和解できますように。

☆メシアニック・ジューの一人一人の信仰を強めてくださり、イスラエル国内で大胆に伝道できますように。

☆エターナル・ラブ・イスラエルのユダヤ人伝道の働きが主に祝福されますように。

☆2024年 夏のユダヤの祭り☆



☆ 8月13日(火)ティシャ・ベ・アブ(神殿崩壊日)

ティシャ・ベ・アブとは、ユダヤ暦のアヴの月の9日です。伝承によれば、紀元前586年のこの日に、バビロニア人によってエルサレムの神殿が破壊され、その後に建てられた第二神殿も紀元70年のこの日に、ローマ人によって破壊されたとされます。ユダヤ民族最大の悲劇の日として記憶されています。

☆アートミニストリーからのお知らせ☆

☆4月9日~14日「第46回神奈美公募展」神奈川県民ホールにて開催。秀作賞を受賞しました。

☆5月15日~27日「第119回太平洋展」国立新美術館にて開催。

☆6月18日~24日「第26回中美神奈川展」横浜市民ギャラリーにて開催。

☆9月11日~16日「第65回太平洋神奈川支部展」横浜市民ギャラリーにて開催。

☆10月8日~14日「第35回神奈川美術協会会員展」横浜市民ギャラリーにて開催。

☆アートを通じて多くの方々に福音を伝える働きをしています。

☆皆さまの上に神様の祝福と恵みが豊かにありますよう心からお祈り申し上げます。

2024年6月 夏号発行(季刊誌)